



令和8年 1月 5日
目黒区立ひもんや保育園長

新年あけましておめでとうございます
本年もよろしくお願い致します

5歳児クラスの子どもたちが作ったしめ縄が玄関に飾られ新たな年を迎えました。今年も子どもたちの笑顔溢れる毎日であるよう願っています。

昨年末のある日、偶発的な出来事が重なり5歳児の子どもが他クラスの制作物を壊してしまったことがありました。一緒に直そう、と促したのですが「わざとじゃないから直さない」と怒りだしてしまいました。子どもの気持ちもわかり悩んだのですが、5歳児の子どもの心の育ちを支えるためにも、やはりそこは向き合ってほしいと思いました。わざとじゃないことは十分わかっていること、自分の大事なものが壊れたらどう思うか、など一緒に話しているうちにポツリと本音を言ってくれました。(本音の思いは二人だけの秘密にさせてください)「そうだったんだね」と言うのとそれまでの勢いがスーッと落ち着き始めました。「わたしも手伝うから、一緒に直そうか」と言うと黙って頷いてくれました。壊れた作品のクラス担任に直すことを言わなくてはいけないことも伝え一緒にいくと、もじもじして言い出せません。「先生、言って」と言われましたが「これは自分でちゃんとやった方がいいと思うよ」と言うと「壊しちゃったの直していいですか?」としっかり伝えることができました。この言葉が今のこの子どもの精一杯の「ごめんなさい」だな、と感じました。“ごめんなさい”“ありがとう”等々の気持ちを言葉では言えなくても気持ちが相手に伝わるのが大切なのだと思います。挨拶の“あい”は、愛情の“愛”と聞いたことがあります。子どもたちが自然と挨拶や気持ちの言葉を心から伝えられるよう、まずはわたしたち大人が沢山の愛情を伝えていきたいと思います。

1月の行事予定

新年お祝い会
5歳児クラス懇談会
乳児お楽しみ会
(0・1・2歳児クラス)
中旬 身体計測、避難訓練



2月の行事予定

節分
4歳児クラス懇談会
3歳児クラス懇談会
2歳児クラス懇談会
0・1歳児クラス懇談会

健康教育をやりました(手洗いについて) 2歳・幼児クラス

看護師から手洗いの仕方を教わり、洗い残しの様子をブラックライトを使って確認しました。



バイ菌のついてる手で
おもちゃや食べ物など
触るとどうなるかな…



ローションを付けて
手洗い後⇒汚れてい
る所が白く見えます

わあ～、こんなに
汚れてるの!!

もう一度手洗い
♪おねがいあらい～
す～べりだいあらい～



保育士が手洗い歌を歌う
と、とても丁寧に洗うよ
うになってきています

0, 1, 2 歳児クラス やってみたいを大切に

つくし組 (0 歳児クラス)

園庭で一人の子どもがコップを手に水道へ向かっています。傍にいた保育士に蛇口をひねるのを手伝ってもらい、水の入ったコップを両手で持ってそろりそろりと運んでいます。するとふと途中で立ちどまり、コップの中身を覗き込んでコップの水が減っている事に気が付きました。Uターンしてまた水を汲み直してさっきよりもさらに慎重な足取りで歩いていきます。テーブルの上にコップを置き座ったのですが、座った場所からはコップに届かないことに気が付き、今度は自分の近くに置いてから座り直して、飲む真似をしていました。コップに水を入れるだけでなく、お気に入りの場所に座って飲み物を飲む（真似）というところまで、その子の遊びは続いていたのです。ついつい大人が声を掛け過ぎてしまったり、足元が少し不安定な所で“躓いて転ばないかしら”“こぼさないように運んであげようかしら”と手を貸してしまいそうになりますが、子どもの姿を見守る事でその子の思いや遊びのストーリーが見えた瞬間でした。

すずらん組 (1 歳児クラス)

積み重なったタイヤを見て「これみてー！」と友達に声をかけると「お水持ってくるね！」とペットボトルに水を汲んできてはタイヤの内側に注ぎ入れ、下から水がじわじわと出てくるとワクワクした表情で見えています。今度は内側から見てみよう、と2人でタイヤの内側に頭を入れ何やら話すうちに「うわっ！」とびっくりしています。どうやら中で自分たちの声が反響することに気が付いたようです。それが面白くなり覗きこんでは「わー！」と声を出し2人で顔を見合わせて楽しそうに笑い合っていました。子どもたちの気づきや発見を見逃さず、子どもたちと同じ目線で面白がったり不思議がったりして楽しんでいます。

ちゅうりっぷ組 (2 歳児クラス)

部屋にあるウレタン積み木を棚からバラバラと床に出すとそのまま離れていってしまいました。これはどうするのかな、まだ使うのかなと見てみると、戻ってきてウレタン積み木の上に乗る、落ちないように渡り始めました。「うわー、この下は火がいっぱいだ。落ちたらアチチチーってなっちゃう」と言いながら進んでいきます。バランスを取れなくて落ちそうになり「おー、危ない」と声をあげると周りの子どもも気付いて加わりました。一緒に渡りながら落ちそうになると、つかまり合ってバランスを取っています。落ちそうになるドキドキワクワクするスリルを友達と共有していました。最初は落ちて散らかった玩具を片づけたくなる思いもありましたが、見守ることで子どもたちが遊びへと変えて楽しむ姿が見られました。これから子どもたちの何気ない行為もどんな思いがあるのか見守り自由な発想を楽しめるようにしていきたいと思います。



～しめ縄作りをしました～

自分たちが育てた稲を使って…

5 歳児クラス



しめ縄からはみ出た藁をハサミで切ってきれいにするよ



丸くして結ぶとしめ縄飾りの出来上がり

3人1組で藁をしっかりとねじって作っていきます



4歳児も興味津々で見えています。“私たちもやってみたいな～”

